



同時発表：利尻富士町、利尻町

令和5年7月3日  
稚内開発建設部

## リシリコンブの養殖漁場におけるブルーカーボン生態系によるCO<sub>2</sub>吸収量を調査します！

北海道開発局は、利尻富士町、利尻町および利尻漁業協同組合と連携して、リシリコンブ養殖漁場におけるブルーカーボン生態系によるCO<sub>2</sub>吸収量を年内目途に推計することとし、この度、CO<sub>2</sub>吸収量の算定に必要となる湿重量（湿った状態の重さ）等の現地調査を公開します。

リシリコンブの産地である利尻島沿岸域では、近年、磯焼けが確認されており、安定的な生産を確保するため、天然コンブ漁だけではなく養殖にも取り組んでいます。一方、リシリコンブの養殖の推進は、ブルーカーボン生態系によるCO<sub>2</sub>吸収が期待できることから、気候変動の緩和策の観点でも、その重要性が増しています。

このため、利尻富士町、利尻町、漁業者である利尻漁業協同組合員および稚内開発建設部が連携して、リシリコンブ養殖漁場におけるブルーカーボン生態系によるCO<sub>2</sub>吸収量を調査し、年内目途に推計することとしました。

この一環として、7月中旬頃の昆布干し作業の合間に、リシリコンブをサンプリング抽出し、CO<sub>2</sub>吸収量の算定に必要となる湿重量、葉長や葉幅等を現地で調査（詳細：別紙1）しますので、取材を希望される方は別紙2により申し込みを行ってください。

なお、現在利尻富士町では、令和5年度中に地球温暖化対策実行計画を策定する予定であり、CO<sub>2</sub>吸収源対策の一環として本取組の調査結果を活用することを検討しています。

### 【問合せ先】

#### （ブルーカーボンによるCO<sub>2</sub>吸収量調査・推計方法について）

国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部 築港課 電話 0162-33-1055  
課長 阿部寿、上席築港専門官 伊藤卓也  
稚内開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/wk/>

#### （リシリコンブの養殖・気候変動対策への期待について）

利尻富士町 産業振興課 電話 0163-82-1350  
課長 関光徳、水産港政係長 入井飛鳥  
利尻富士町ホームページ <http://www.town.rishirifuji.hokkaido.jp>  
利尻町 産業課 電話 0163-84-2345  
課長 鎌田正吾、水産港政係長 新濱直樹  
利尻町ホームページ <http://www.town.rishiri.hokkaido.jp/rishiri/>



# リシリコンブの養殖漁場における ブルーカーボン生態系のCO<sub>2</sub>吸収量の調査

---



利尻漁業協同組合



利尻富士町



利尻町

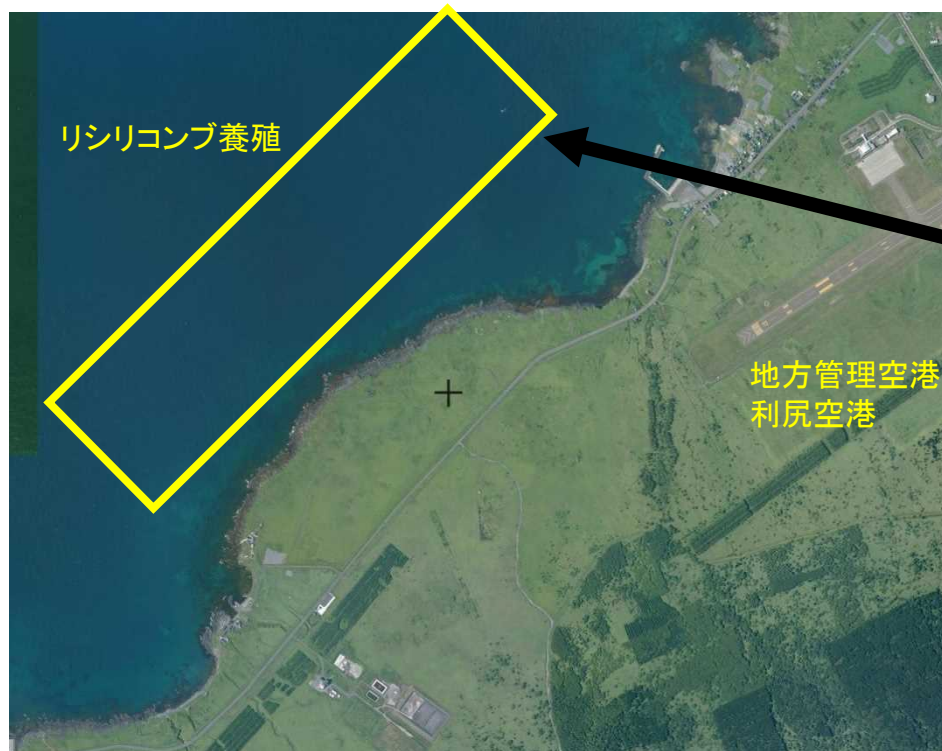


国土交通省  
北海道開発局  
稚内開発建設部

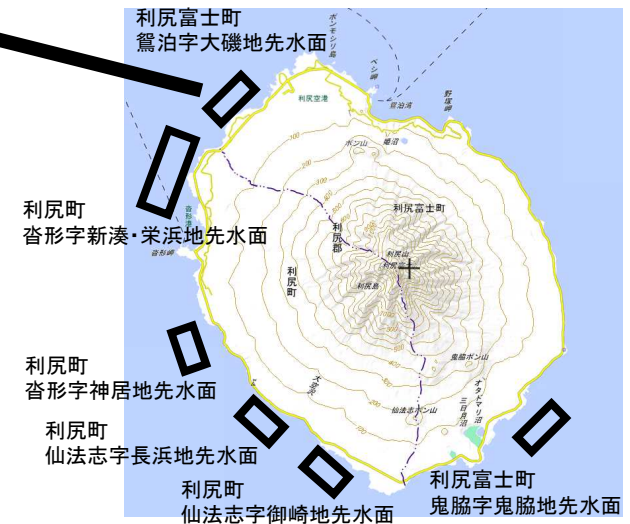
## 調査背景

- リシリコンブの産地である利尻島沿岸域では、近年、磯焼けが確認されており、安定的な生産を確保するため、天然コンブ漁だけではなく養殖にも取り組んでいます。一方、リシリコンブの養殖の推進は、ブルーカーボン生態系によるCO<sub>2</sub>吸収が期待できることから、気候変動の緩和策の観点でも、その重要性が増しています。
- このため、利尻富士町、利尻町、漁業者である利尻漁業協同組合員および稚内開発建設部が連携して、リシリコンブ養殖によるブルーカーボン生態系のCO<sub>2</sub>吸収量を年内目途に推計することとしました。
- なお、現在利尻富士町では、令和5年度中に地球温暖化対策実行計画を策定する予定であり、CO<sub>2</sub>吸収源対策の一環として本取組の調査結果を活用することを検討しています。

# リシリコンブの養殖箇所



拡大



利尻島

湿潤量等を計測する昆布の養殖区域  
(利尻富士町鷺泊字大磯地先水面)

# リシリコンブ養殖施設



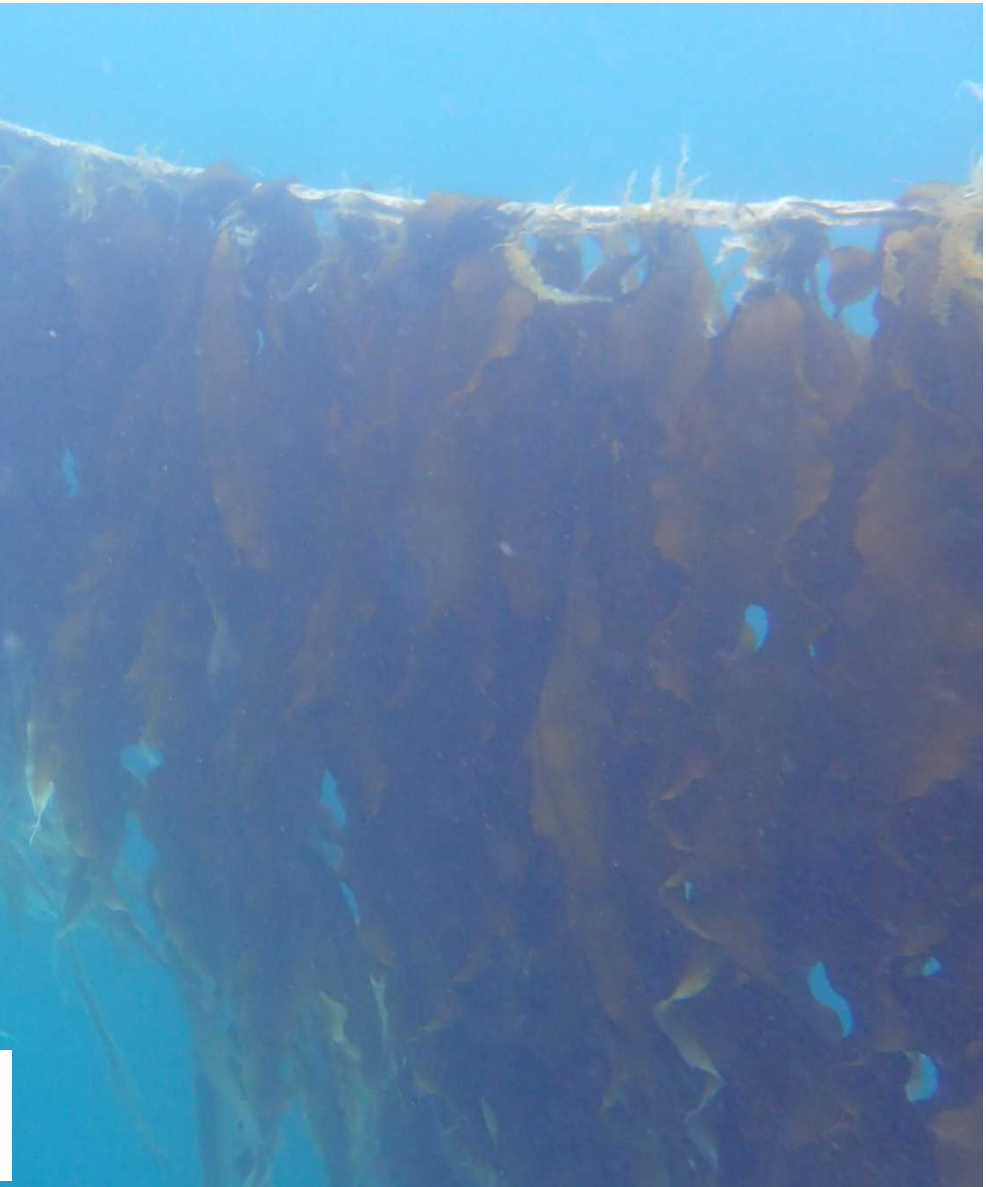
利尻富士町鴛泊字大磯地先水面

海面に浮かぶリシリコンブ  
(令和5年6月撮影)

# リシリコンブの生育状況

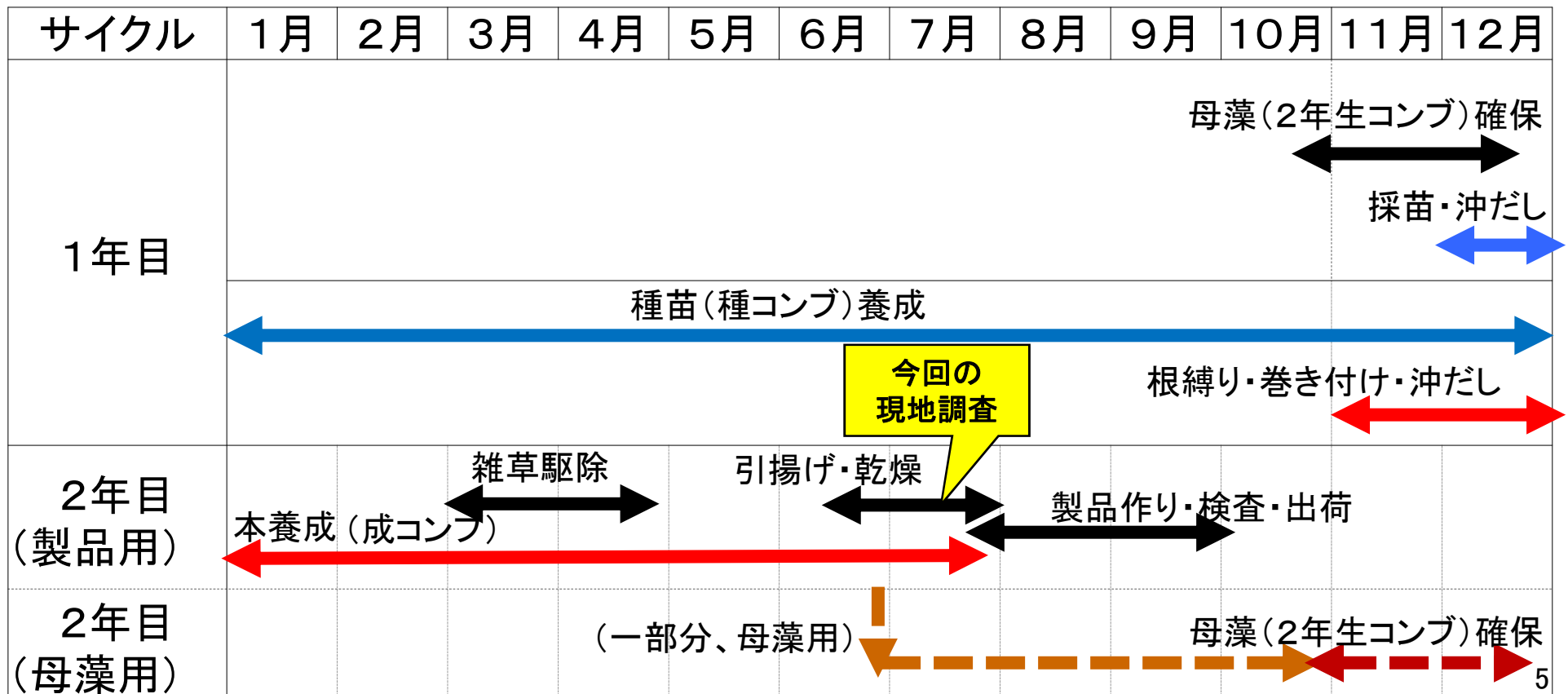
利尻富士町鴛泊字大磯地先水面

養殖昆布施設での2年目の成コンブ  
(令和5年6月撮影)



# リシリコンブの養殖工程

- 1) 1年目は母藻を確保し、付着水槽の遊走子を確認後、養殖ロープを水槽に静置し、その後沖だし、種コンブの養成を開始。
- 2) その後、冬期に種コンブを陸揚げ・選定の上、成コンブ養成用のロープに根縛り・巻き付けを行う。
- 3) 2年目のロープ等に付着する雑海藻を除去し、成コンブの実入りを管理し、6月に引き揚げ乾燥を開始し、9月頃出荷する。



# 湿重量等の現地調査内容

- 1) 昆布干場で広げられた養殖ロープから繁茂している箇所を選定。
- 2) ロープに巻き付けられている昆布、数箇所の距離を計測。
- 3) 昆布を刈り取り、湿重量と本数、葉長・葉幅を計測。



昆布干場での天日干し  
(令和4年6月撮影)



## 取材申込書

### <入力事項>

取材代表者氏名 (外、取材同行者人数)	( 名)
所属(会社名)	
電話番号	
メールアドレス	
現地取材への参加	参加する ・ 参加しない (どちらかに○を付けて返信ください)
動画・静止画の提供	希望する ・ 希望しない (どちらかに○を付けて返信ください)

### <現地集合場所>

利尻富士町鴛泊字大磯 本泊漁港大磯分港 (別図1)

(こちらに集合願います。ここでは昆布漁業の概要を説明させていただきます。その後、現地調査場所へご案内する行程となります。)

### <送信先>

利尻富士町 産業振興課 水産港政係宛て

メールアドレス : [suisan@town.rishirifuji.hokkaido.jp](mailto:suisan@town.rishirifuji.hokkaido.jp)

### <注意事項>

- ✓ 昆布の水揚げは、通常当日の気象海象により判断されますが、晴天が見込まれ、操業の仮判断ができる場合は事前にご連絡します。
- ✓ 悪天候や宿泊所等の事情により現地取材が困難となるケースが想定されます。このため、7月中旬頃に動画・静止画のデータを提供できるようご対応します。
- ✓ 干場では、昆布が整然と並べられています。製品となるリシリコンブであるため、干場での移動にあたってはご注意願います。
- ✓ 令和5年7月6日(木)15時まで、メールにて本取材申込書を送付ください。
- ✓ 申込み受領後に確認メールを送付させていただきます。確認メールが届かない場合は、利尻富士町産業振興課水産港政係(電話 0163-82-1350)までお問い合わせください。

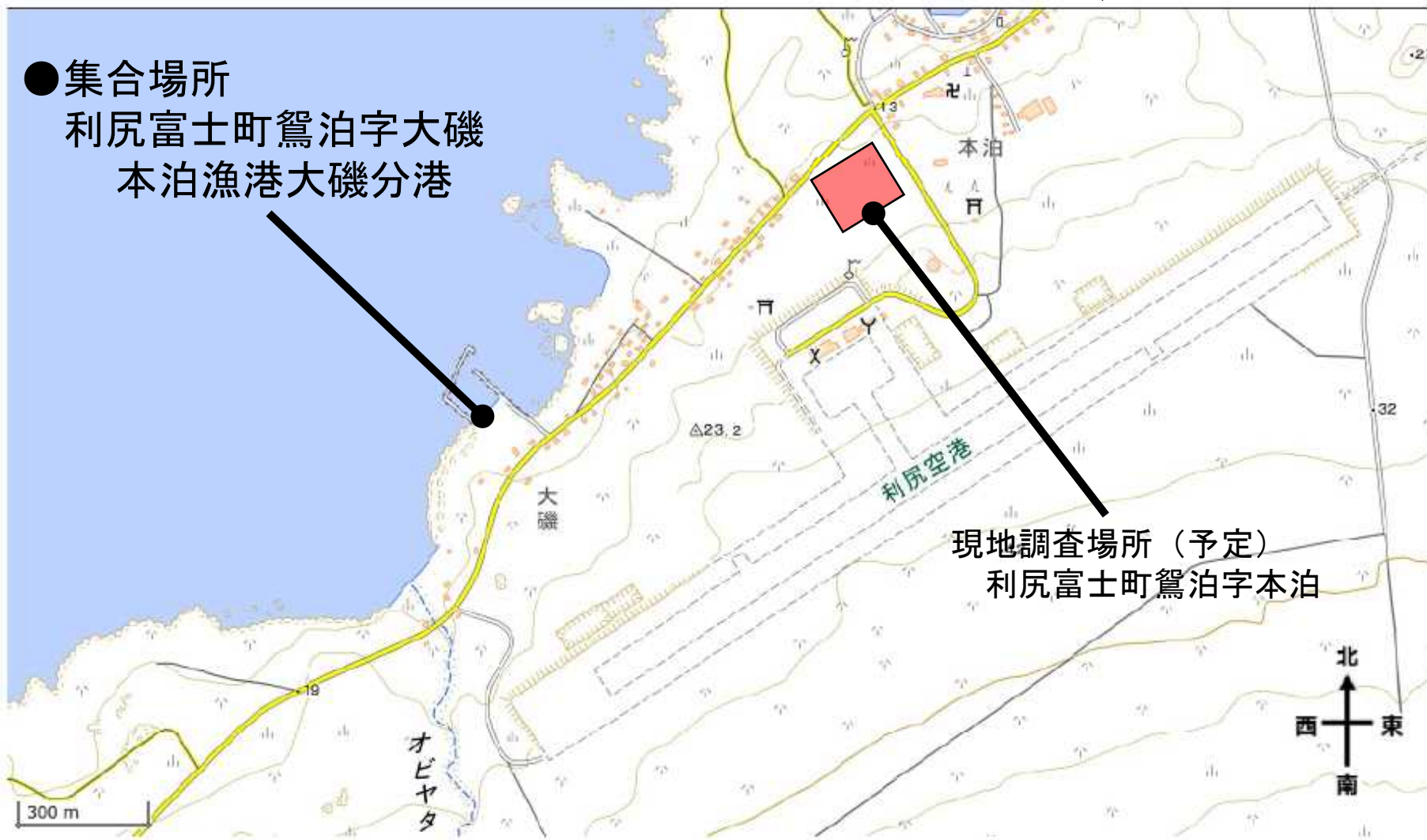
# 別図1 現地集合及び調査場所位置図

地理院地図  
GSI Maps

至 鴛泊港フェリーターミナル



- 集合場所  
利尻富士町鴛泊字大磯  
本泊漁港大磯分港



至 沓形港フェリーターミナル